

IXIL ラシッサ 室内用窓 両開き窓 取付け説明書



MAP554

●取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

▲注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意



- 本体が脱落し、ケガをするおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- ・丁番固定ねじはゆるみなく締め付けてください。
- ・本体の吊込み後、上丁番の軸を下げてください。

保管・施工前のお願い

- 取付け後の損傷は免責となるので、開梱時に必ず検品をしてください。
- 製品に不具合があった場合は、取付け前にお買い求め店までご連絡ください。
- 本体は、ソリ・ねじれ防止のため以下の場所には置かないでください。(直射日光が当たる・昼夜で温度差が激しい・湿気が多い)
- 壁内結露が発生する可能性がある場合は、枠部材に防水処理をしてください。
- 本体部品が損傷し開閉不良の原因になるので、落下させたり衝撃を加えないでください。
- テープを表面シートに貼ると、剥がす際にシートが損傷するので貼らないでください。
- 立て置きでの長期保管はソリ・ねじれの原因となるので、寝かせた状態にしてください。
- 損傷防止のため、本体は建築工事完了後に吊込むことをおすすめします。

※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	丁番の固定ねじはゆるみなく締め付けましたか？	☐
2	本体吊込み後に本体側上丁番の軸を下げましたか？	☐



このマンガはフィクションです。
実在の人物や団体などとは関係ありません。

■部品・部材の明細

※1 枠はノックダウン、本体は完成品

※2 別売品

本体(1セット)※1	枠※1	ケーシングセット※2 (ケーシングタイプのみ)
部品セット	部品・部材名	数量
	縦枠	2
	上枠	1
	下枠	1
	縦枠用戸当り	2
	上枠用戸当り	1
	下枠用戸当り	1
	部品セット	1
	取付け説明書	1
	部材名	数量
	縦用	4
	横用	4

1 開口部の作り方

開口部の作り方上をお願い

●製品不具合となるので、全て含水率20%以下の建築材料を使用してください。

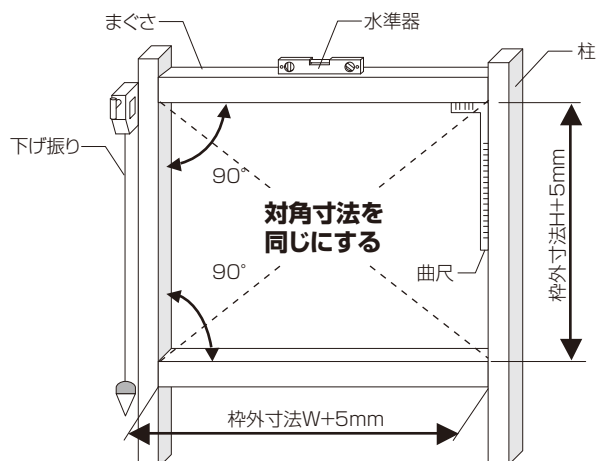
【軽量鉄骨に施工する場合】

●軽量鉄骨との干渉を避けるため、必ず40mm以上の木枠を入れてください。

●開口は、枠外寸法に対して高さ：H+5mm、幅：W+ 5mmで作ってください。

※開口は必ず水平垂直にしてください。

●間口寸法



■対応壁厚について

(単位：mm)

ノンケーシングタイプ	見込み	対応壁厚
	NC140	101～115
	NC156	116～130
	NC171	131～145
	NC180	146～160

ケーシングタイプ	品種	対応壁厚
	薄壁用	111～152
	厚壁用	142～192

2 枠の組立て

枠組立て上をお願い

●枠の垂下がり・ゆがみの原因になるので同梱のねじを使用してください。

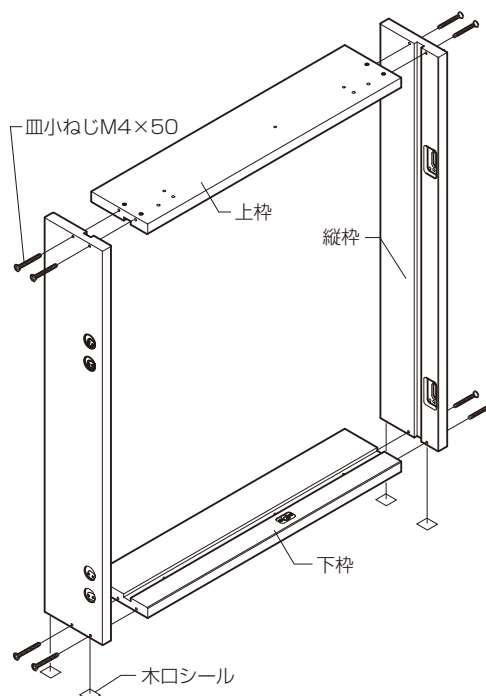
①縦枠下端部に木口シーンを貼り付けます。

※ケーシング付枠の場合：ケーシング取付け時に貼り付け

②下図のように同梱のねじで枠を組立てます。

■部品セット明細(枠セット用)

名称	数量
組立て用 皿小ねじM4×50	8
木口シーシート(NC枠用)	1



3 枠の取付け

枠取付け上のお願ひ

- 枠の垂下がり・開閉不良の原因になるので下記事項をお守りください。
- ・ 同梱のねじを使用してください。
- ・ 枠は水平垂直に取付けてください。
- ・ 枠と躯体の間のかい木は表裏に接着剤(現場手配)を塗布してねじ固定部に入れてください。

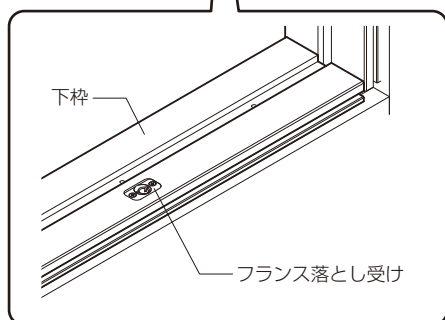
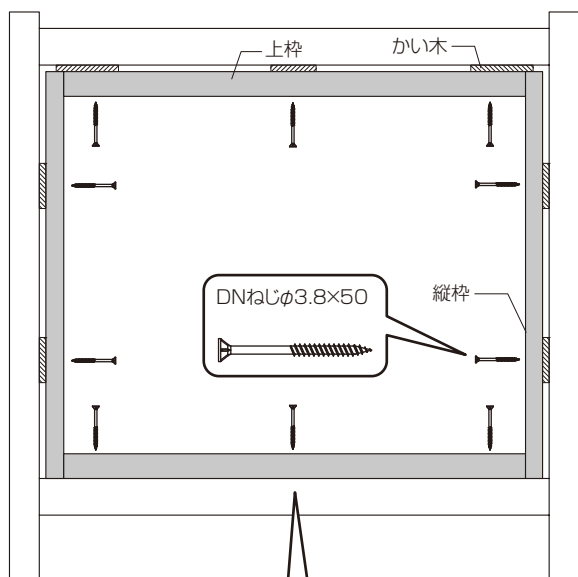
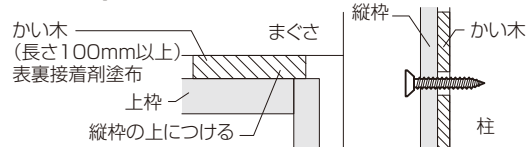
- 縦枠、上枠と躯体の間にかい木を入れて、同梱のねじで固定します。

※ フランス落とし受けがついている方を下にしてください。

■ 部品セット明細(枠セット用)

名称	数量
躯体取付け用DNねじ 皿木ねじφ3.8×50	10

● かい木について

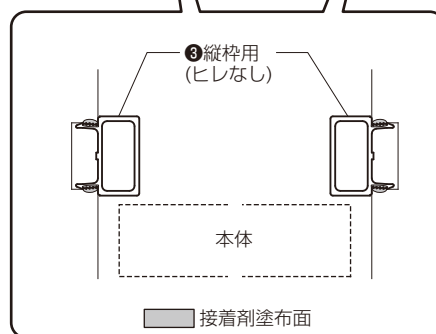
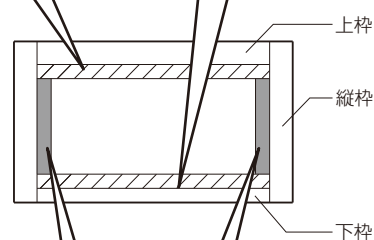
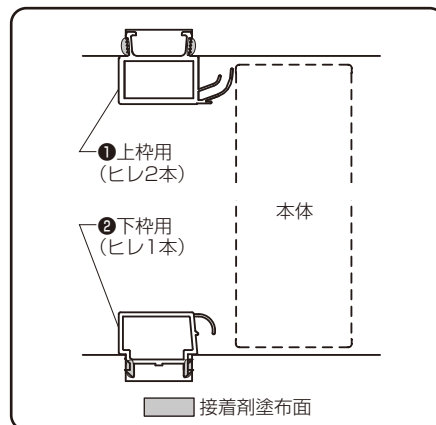


4 戸当りの取付け

戸当り取付け上のお願ひ

- 戸当りが破損するので、必ず当て木をして取付けてください。

- ① 戸当り取付け部リップ全面に木工用接着剤(現場手配)を塗布します。
- ② ①上枠用⇒②下枠用⇒③縦枠用の順で取付けます。
(はみ出た接着剤は必ず拭き取ってください。)



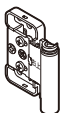
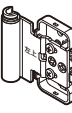
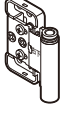
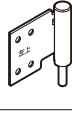
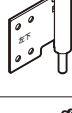
5 丁番の取付け

丁番取付け上のお願い

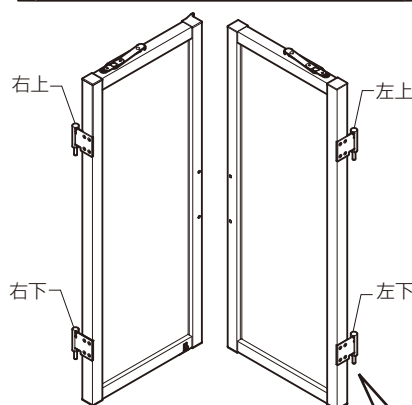
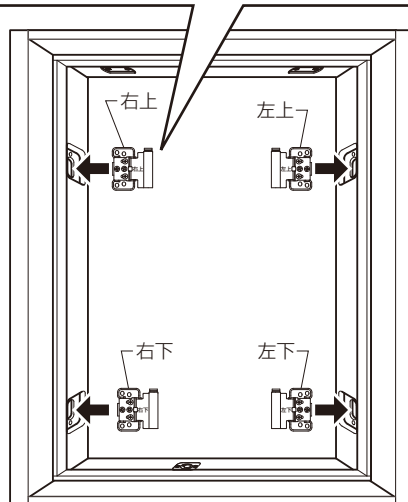
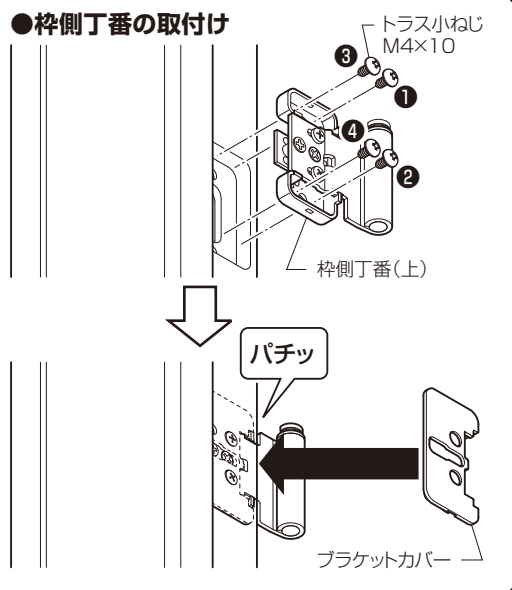
- 丁番は上下左右で異なるので、刻印を確認して取付けてください。
 - 丁番が傾き、すき間の発生や床を傷つける原因になるので、下記をお守りください。
 - ・ 枠側丁番取付けねじは①～④の順に締め込んでください。
 - ・ 丁番取付け後、ねじのゆるみがないことを再度確認してください。
- ※ゆるんでいる場合は増し締めしてください。

- ① 縦枠に、枠側丁番を指定のねじで取付けます。
 - ② ブラケットカバーを「パチッ」と音がするまでしっかりはめ込みます。
 - ③ 本体側丁番を本体に指定のねじで取付けます。
- ※本体はフリクションステーがあるのが上側です。

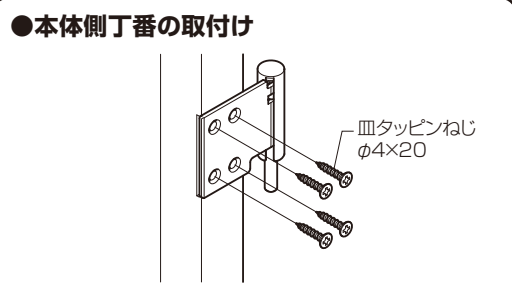
■ 丁番セット

	名称	数量
枠用	 枠側丁番(右上)	1
	 枠側丁番(左上)	1
	 枠側丁番(右下)	1
	 枠側丁番(左下)	1
	 ブラケットカバー	4
	 枠側丁番取付けねじ トラス小ねじM4×10	16
本体用	 本体側丁番(右上)	1
	 本体側丁番(左上)	1
	 本体側丁番(右下)	1
	 本体側丁番(左下)	1
	 本体側丁番取付けねじ 皿タッピンねじφ4×20	16

● 枠側丁番の取付け



● 本体側丁番の取付け



6 本体の吊込み

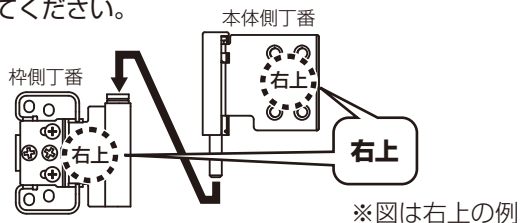
▲ 注 意



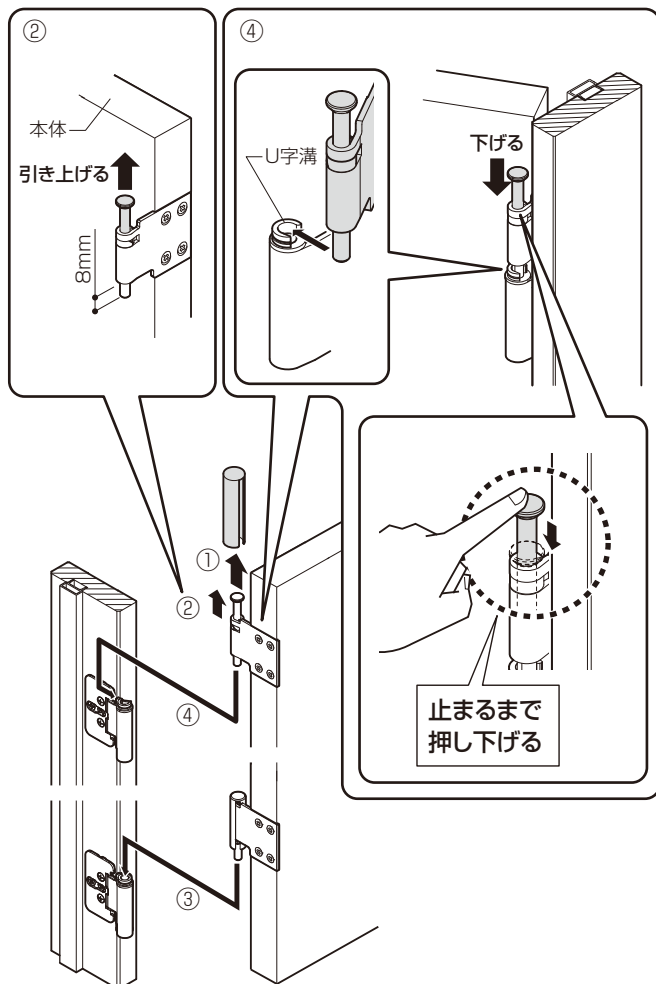
- 本体が脱落し、ケガをするおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・ 丁番固定ねじはゆるみなく締め付けてください。
 - ・ 本体の吊込み後、上下丁番の軸を下げてください。

本体吊込み上のお願

- 本体が吊込めなくなるので、同じ刻印同士になるように取付けてください。



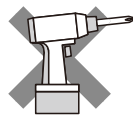
- ① 上下の丁番軸力バーを外します。
- ② 本体側丁番の軸を止まるまで引き上げます。
- ③ 本体側下丁番を枠側下丁番に垂直に差し込みます。
- ④ 本体側上丁番の軸を枠側上丁番のU字溝にはめ込み、軸を押し下げます。
- ⑤ 上下の丁番軸力バーを取付けます。



7 本体部品の取付け(吊込み後)

本体部品取付け上のお願

- 取付け不良となるので手回しドライバーで固定してください。



**電動
ドライバー 使用厳禁**

- ① フリクションステーを指定のねじで上枠に固定します。
- ② 把手を指定のねじで固定し、カバーでフタをします。

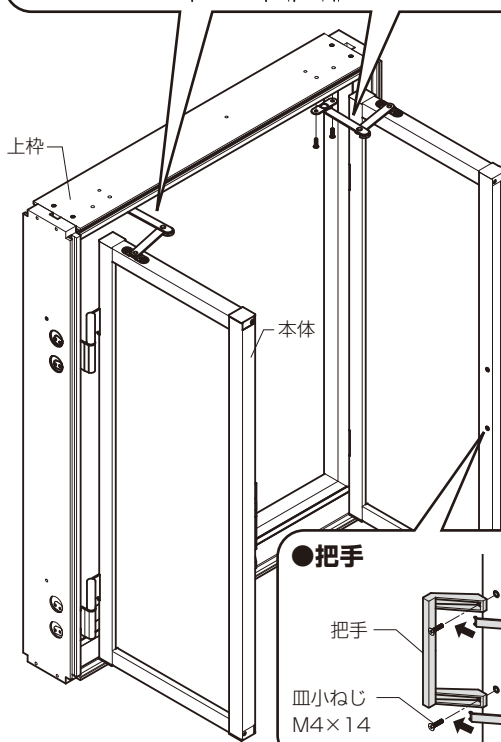
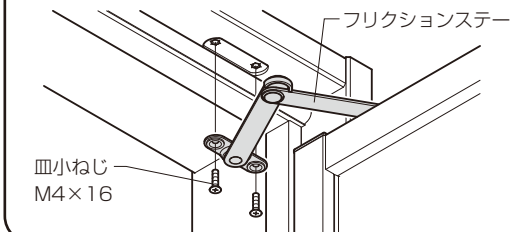
■ 本体部品セット

名称	数量
ステー固定ねじ 皿小ねじM4×16	4

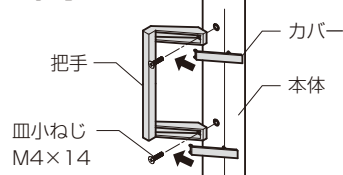
■ 把手セット(別売品)×2セット

名称	数量
把手	1
カバー	2
固定ねじ 皿小ねじM4×14	2

● フリクションステー



● 把手



⑧ケーシングの取付け(ケーシングタイプのみ)

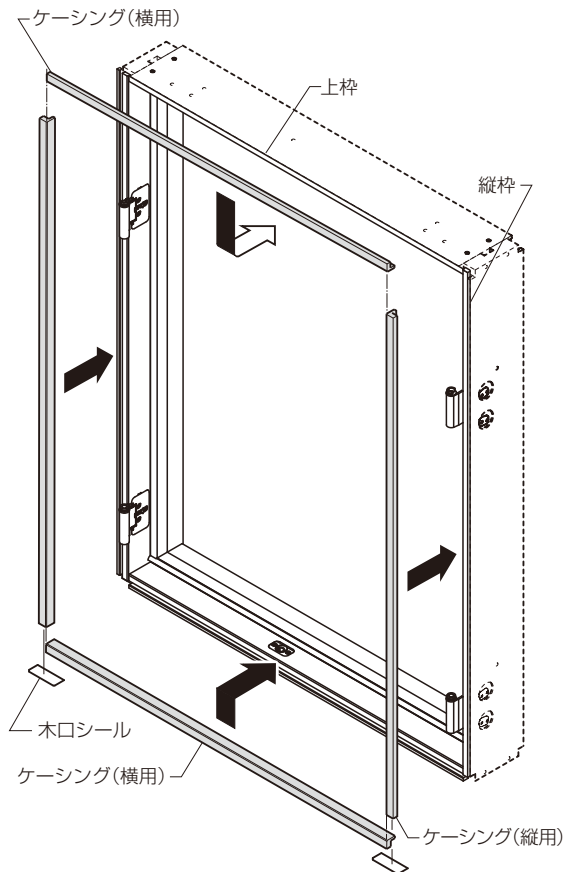
ケーシング取付け上のお願ひ

●壁材・床材を仕上げてから取付けてください。

- ①ケーシングを現場寸法に合わせて切断します。
- ②ケーシング裏面と枠のケーシング溝に接着剤(現場手配)を塗布し、固定します。(はみ出た接着剤は必ず拭き取ってください。)
- ③縦用ケーシング下部木口に木口シールを貼り付けます。
※はみ出した木口シールは切ってください。

■部品セット明細(枠セット用)

名称	数量
木口シールシート(ケ付枠用)	2

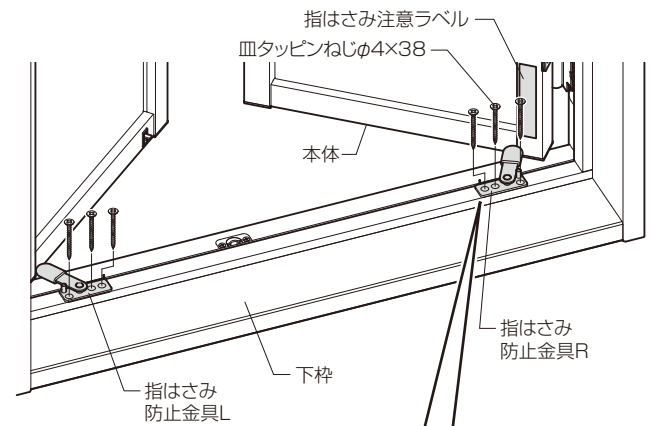


⑨指はさみ防止部品の取付け(オプション)

- ①下枠の戸当りに下図の位置でφ2の下穴をあけます。
- ②指はさみ防止金具を指定のねじで固定します。
- ③指はさみ注意ラベルを本体の縦框に貼り付けます。

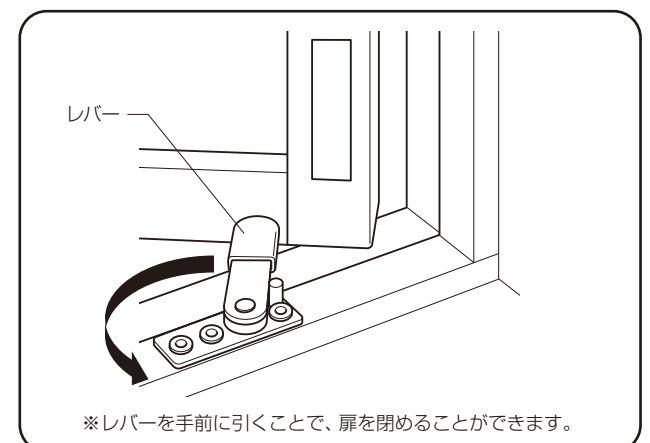
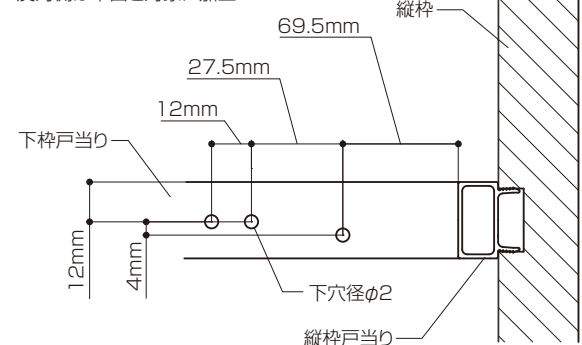
■指はさみ防止部品セット

名称	数量
指はさみ防止金具L	1
指はさみ防止金具R	1
指はさみ防止金具固定ねじ 皿タッピンねじφ4×38	6
指はさみ注意ラベル	2



●下穴位置

反対側は本図と対象に加工



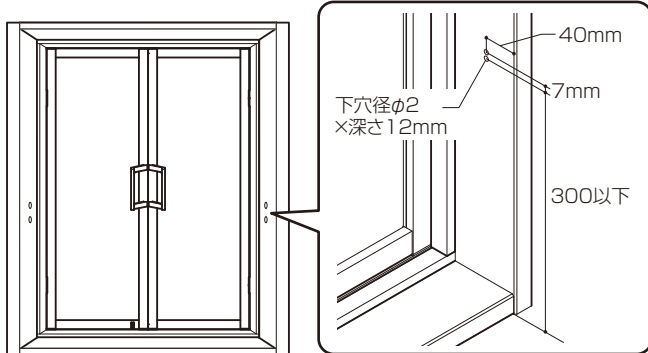
※レバーを手前に引くことで、扉を閉めることができます。

■転落防止バーの取付け(オプション)

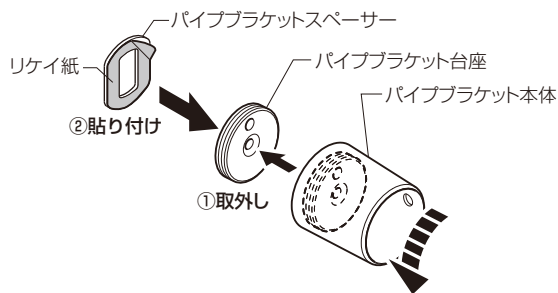
●取付け前の準備

- ①縦枠の図の位置に下穴($\phi 2 \times$ 深さ12mm)をあけます。
- ②ブラケットを回して本体から台座を取外し、台座裏面にスペーサーを貼り付けます。
※スペーサーのリケイ紙を剥がして貼り付けます。
- ③パイプを枠内寸法-16mmで切断します。

①縦枠の下穴



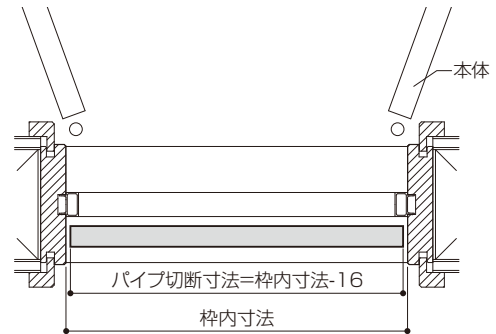
②台座へのスペーサー貼り付け



■転落防止バー部品セット

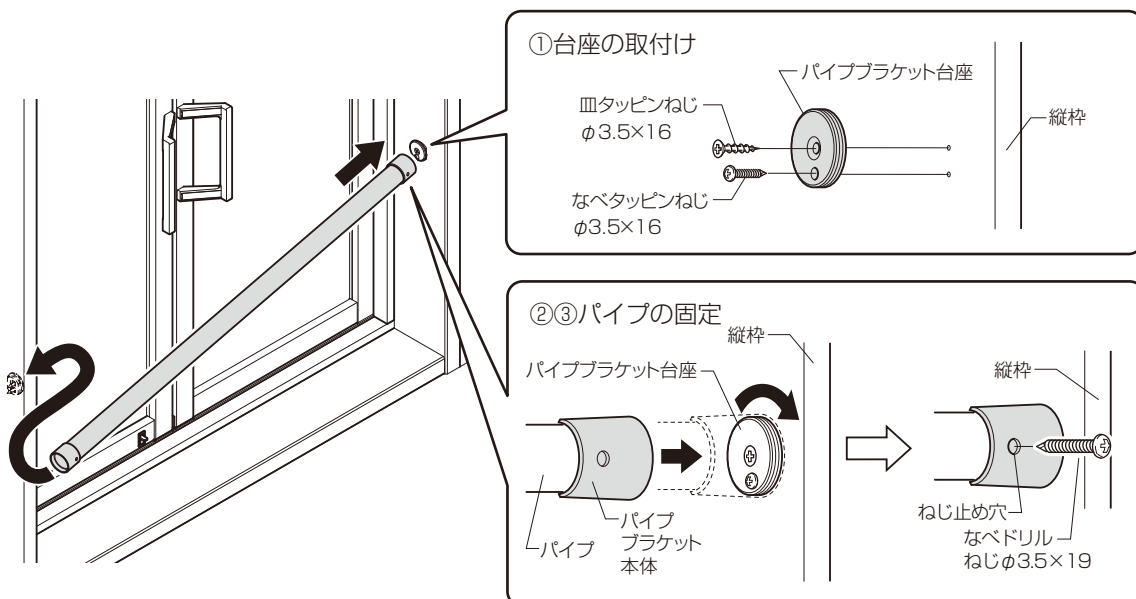
名称		数量
ハンガーパイプ		1
パイプブラケット		2
パイプブラケットスペーサー		2
パイプブラケット台座固定ねじ なべタッピンねじ $\phi 3.5 \times 16$		2
パイプブラケット台座固定ねじ 皿タッピンねじ $\phi 3.5 \times 16$		2
パイプ固定ねじ なべドリルねじ $\phi 3.5 \times 19$		2

③パイプの切断



●転落防止バーの取付け

- ①スペーサーを縦枠側に向けて、台座を縦枠に固定します。
- ②パイプ両端にブラケット本体をはめ、ブラケット本体を台座にねじ込んで取付けます。
- ③ブラケット本体のねじ止め穴からドリルねじをねじ込み、パイプを固定します。



建付け調整

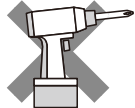
▲ 注 意



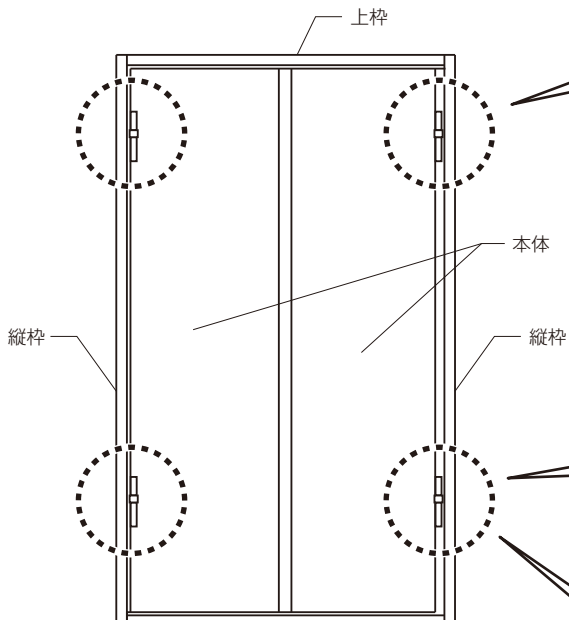
●本体が脱落し、ケガをするおそれがありますので調整後は丁番固定ねじはゆるみなく締め付けてください。

建付け調整上のお願

●製品が破損するので、必ず手回しドライバーで調整してください。



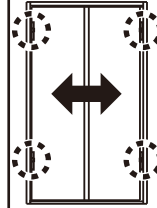
**電動
ドライバー 使用厳禁**



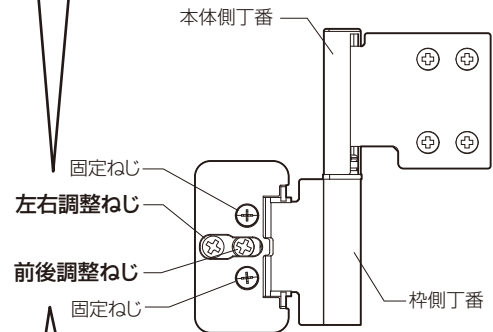
●左右調整

調整可能範囲

吊元側 (1.5mm)
戸先側 (2mm)



- ①固定ねじをゆるめる。
- ②左右調整ねじを左右に回して、本体を左右に移動し位置を決める。
- ③固定ねじを締める。

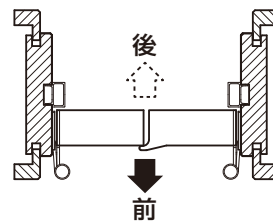


※図は上用丁番を示す

●前後調整(丁番側)

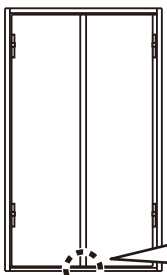
調整可能範囲

前 (4mm)
後 (1mm)



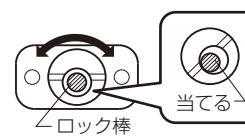
- ①固定ねじをゆるめる。
- ②前後調整ねじを左右に回して、本体を前後に移動し位置を決める。
- ③固定ねじを締める。

●ガタツキ調整(フラス落とし)

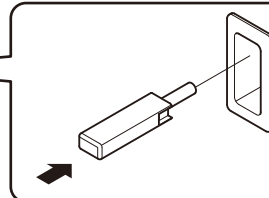
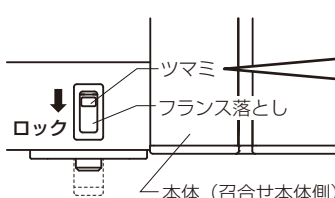


- ①コイン等で穴を回転させ、ロック棒がガタつかないように調整する。

●フラス落とし受け



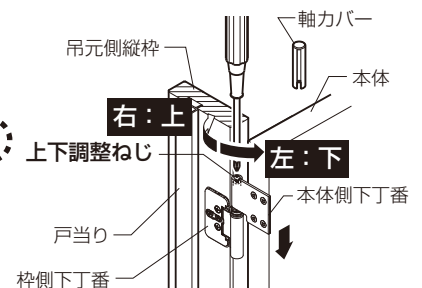
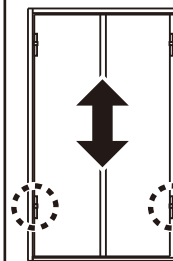
ツマミはメンテナンスのため取外しができる構造になっています。ツマミが外れた場合は、前方から差し込んでください。



●上下調整(下丁番)

調整可能範囲

上 (3mm)
下 (3mm)



- ①本体側下丁番の軸力バーを外す。
 - ②上下調整ねじを回して上下調整する。
 - ③軸力バーを本体側下丁番にはめる。
- ※調整時には、上枠とフリクションステーが干渉しないようにしてください。
- ※調整後にはフラス落としのツマミを下げ、ロックがかかることを確認してください。

12 困った場合の対処

製品ラベルの二次元バーコードを読み取ると、メンテナンス情報にアクセスできます。

※製品ごとに合わせた情報を公開しています。



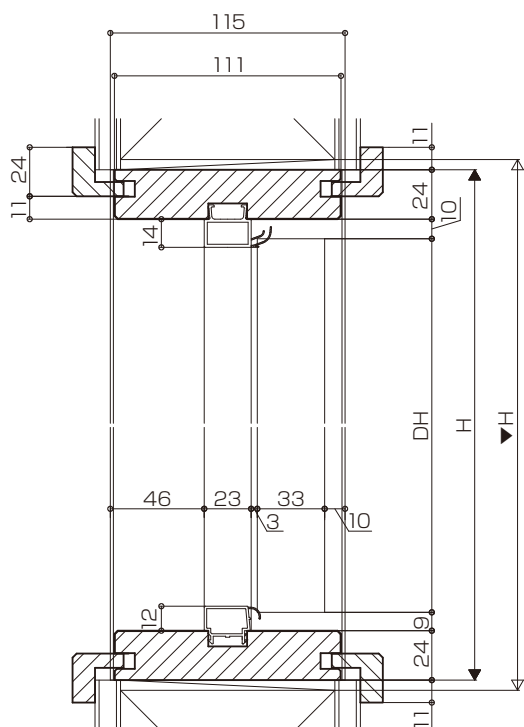
●スマホ画面

○お客さまサポート

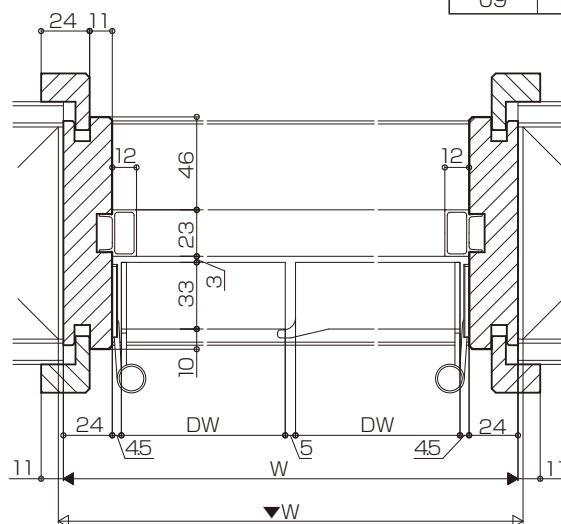
▲ 安全にお使いいただくために	+
？ よくあるお問い合わせ	+
✓ お手入れ・お掃除	+
📖 取扱説明	+
🔧 調整方法	+
⚠ 故障かなと思ったら	+
🔨 施工説明	+
🛒 部品購入	➡
📞 お問い合わせ	+
👤 修理のご依頼	➡
👤 リクシルオーナーズクラブへのご登録	➡

■ケーシングタイプ

●縦断面図



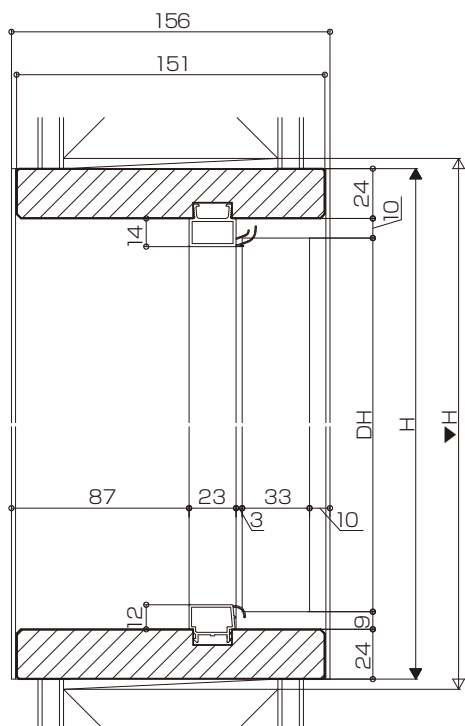
●横断面図



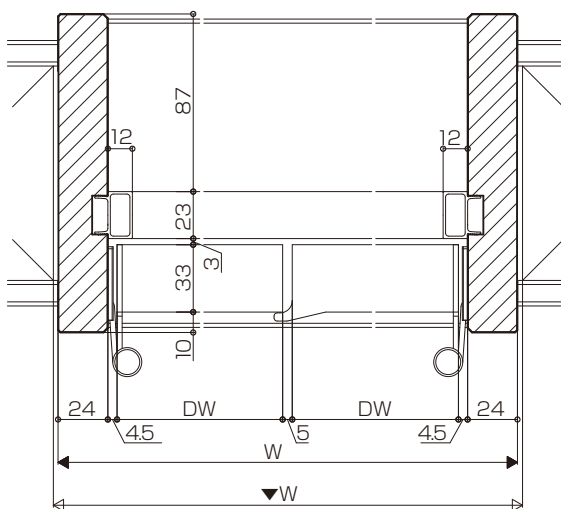
H呼称	H	DH
09	923	856

■ノンケーシングタイプ

●縦断面図



●横断面図



H呼称	H	DH
09	923	856

MEMO

MEMO
